

ワークショップ7

「上部消化管出血の治療の工夫」

司会 今枝 博之（埼玉医科大学消化管内科）

浦岡 俊夫（群馬大学大学院医学系研究科内科学講座消化器・肝臓内科学分野）

上部消化管出血には内視鏡的止血術が治療の第一選択となるが、そのエビデンスレベルは十分でなく、これまで様々な方法が考案・実施されてきた。また、周術期には適切な全身管理が求められ、IVR や外科手術適応も念頭におく必要がある。本セッションでは、非静脈瘤性上部消化管出血（内視鏡切除後出血を含む）の治療に関する各施設での工夫・多職種での取り組み、医療機器・デバイスの進歩のみならず、内服中の抗血栓薬などの取り扱いなどの課題についてご発表いただきたい。